

哲学コース

4回生 M.K.

コースの概要・特徴

哲学コースでは、自分たちが考えられるものすべてが研究分野です。それを理性的に、突き詰めて研究しています。基本的には4つの分野(形而上学、倫理学、宗教学、美学)に合わせて授業がつくられており、加えて哲学史を学ぶ授業もあります。また、授業とは別に読書会を自主的に行っています。

入学前の興味・関心

入学前は、文化、歴史、言葉など多くのことに关心があり、現在とは別のコースに入ろうとしていました。1回生の間にも、あまりにも決められず、幅広く懐の大きい哲学コースを選びました。

コースを決めたきっかけ

1回生の時に受けた概論の授業で、読んだ本を元に哲学的な議論を受講者同士で行いました。その授業が楽しく、このコースに入れればこれをずっとできる！と思ったことがきっかけです。

印象に残るコースの授業

人間文化基礎論ⅠAや哲学概論という授業です。哲学概論はテキストを読み進めながら「時間」について考え、受講者と議論しました。「時間が進む」とはいうけれど、本当に時間はすすんでいるのか…などの疑問から議論を広げていきました。この授業を受けて、あたり前だと思っていたことが思い込みかもしれないと気づくきっかけとなり、世界が広くなつたと思っています。

コースのアピールポイント

なんでも研究できることだと思います。その分、卒業論文のテーマも人によって全然違います。哲学という手法、探究の仕方を通じて一緒に議論しながら考えを深めていくことが楽しいです。コースでの授業などを通して、論理的、哲学的な考え方方は一生役に立つと思っています。私はそれが身についたことがよかったですなど感じています。

高校生へのメッセージ

文学部はいいところなのでぜひ。哲学コースは難しそうだというイメージはあるかもしれません、どんな考えも身近な疑問からはじまっています。世界にいろんな疑問がある人はぜひ哲学コースに。

日本史コース

3回生 T.Y.

コースの概要・特徴

日本史について学ぶことができるコースです。本コースに所属する先生方は、古代・中世・近世・近現代・考古学を専門とされており、すべての時代をカバーしており、充実しています。また、実際の地域の歴史について文献史料や聞き取り調査など歴史学的手法を用いて行う合同調査という行事に学部生の頃から参加することができ、歴史学を学ぶ環境が整えられています。

入学前の興味・関心

色々な国の歴史や文化を学びたいという気持ちがありました。文学部では1回生のうちはコースに所属せずに授業を受けられるので、とりあえず文学部に入って学びたいことを決めようかな、と考えていました。

コースを決めたきっかけ

もともと歴史学に興味があり、世界史コースか日本史コースで迷っていました。日本史であれば、日本に住んでいるので、直接史跡や博物館などに行って調査できますし、住んでいる場所の歴史について勉強がしたいなと思うようになり、日本史コースに決めました。

印象に残るコースの授業

近世の古文書を各グループごとで分担して読み進め、どんなことが書かれ、そこからどんな歴史的事実が読み取れるのかを検討していく授業です。文章にはくずし字が用いられているので、はじめのうちは読みなれておらず進めていくのに苦戦していましたが、読み進めていくうちに古文書に書かれている内容が徐々に明らかになっていくのが面白かったです。グループごとに進めていくので、週ごとに新たな発見があり、やりがいがありました。

コースのアピールポイント

全部の時代の専門の先生がいらっしゃるのが特色で、自分が研究したい時代ができる環境が整えられているところです。コース内の仲がよく、同期や 先生、先輩、院生の方など横も縦のつながりがあります。コース内のイベントでは、合同調査や、歴史学教室での遠足・旅行があります。各時代のゼミでも合宿や研究会があり、人との交流が盛んです。

高校生へのメッセージ

勉強は案外どうにかなるので、最後まで諦めなければ大丈夫です！大学は高校よりも自由に時間が使えるので、とても楽しいです。頑張ってください！

世界史コース

3回生 Y.S.

コースの概要・特徴

哲学歴史学科の中でも、日本以外の幅広い地域・分野の歴史について学べるコースです。コースに所属されている先生方の専門分野が、時代と場所で適格にカバーされています。東洋史・西洋史にわかつており、自分が研究してみたい時代・場所に取り組む際、様々なサポートをしてくださります。

入学前の興味・関心

歴史を題材に取り扱った漫画にはまっていました。また、受験科目の中でも世界史や国語が好きでした。そのため、文学作品を読むことも好きで、入学後はサークル活動で読書会をよくしています。

コースを決めたきっかけ

入学前の関心から続いており、好きな漫画の影響から日露の歴史についてもっと学びたいと思っていました。さらに、大学の講義を受ける中で歴史学という学問分野に魅力を感じ、大学受験では世界史選択をしていたこともあり、世界史コースに入りました。

印象に残るコースの授業

歴史史料を読んで解釈するために外国語文法を語学が必要なので、世界史コースでは言語を学ぶ機会があります。印象的だったのが、西洋史ではトルコ語の文法を学ぶ授業で、がっつり文法に取り組みながら文化について学ぶことができ面白かったです。また、東洋史では、細かいマニアックな歴史について学んだり、漢文をひたすら読解していく授業があったりと、大変ながらとても面白いです。授業によっては予習などが大変ですが、コースのみんなで楽しく学ぶことができる環境だと思います。

コースのアピールポイント

高校までの歴史は暗記が重視されますが、大学からの歴史は教科書の内容のもとになる学説について考えていくことになります。習ってきたことを鵜呑みにせず、様々な解釈を考えていけるのが面白いです。また、コースの行事面では、世界史と日本史の歴史学教室で合同の遠足・旅行が開催され、史跡や博物館などを解説つきで巡ったり、コース所属の人たちと仲を深められるのが魅力的です。

高校生へのメッセージ

まずは受験を頑張ってください！
自分の興味関心に向かうことが大事なので、勉強をする傍ら興味関心について深めていくことも意識できたらとてもいいと思います。

社会学コース

4回生 M.O.

コースの概要・特徴

社会学は社会に関する様々な現象について、質的調査や量的調査などの適切なアプローチを通して記述、分析する学問です。社会に関することであればなんでもできます！

入学前の興味・関心

もともとは人の考えを学びたいと思っていましたが、その人が置かれる社会的な立場に影響されるのでは？という関心に変わっていました。色々な人と話すなかで、心理学ではなく社会学で、社会に関することであればなんでも学べる！と思いました。

コースを決めたきっかけ

国際情勢や社会問題についてもっと本格的に学びたいと思っていたことや、コースガイダンス（支援機構）で社会学の院の先輩とお話しして、研究内容に自由度があること、自分で研究方法を決めて自分で設定して研究できることがおもしろい！と思い、社会学コースに決めました。

印象に残るコースの授業

社会学史の授業では社会学者の思想や概念を学ぶのですが、社会で生きる中で私たちが出会う様々な現象を言葉で、そして概念として説明されることが大変興味深いと思いました。また、コリアタウンの歴史や文化を調査するフィールドワークや、ジェンダーや家族社会学についてなど、所属する先生方の専門分野を学ぶ機会もあり、受講する前と後では社会に対する見方が大きく変わるくらい衝撃的な気づきを得ました。

コースのアピールポイント

同じコース内にいても研究内容が多岐にわたるため、コース生との話がすごく面白いです。例えば、テレビのCM・マッチングアプリ・服・高校野球・宗教など、人によって関心分野が様々です。このように、自分の興味関心に正直になって思う存分研究できます。

また、調査を通して自分とは異なる文化や環境で育った様々な人々の生活について考えることもあり、社会について考え方でいく上で充実した環境だと思います。

高校生へのメッセージ

受験勉強は大変ですが、気負わずほどほどに頑張ってください！案外なんとかなるようになります！

心理学コース

3回生 S.S.

コースの概要・特徴

大阪公立大内で心理学を学べる学部・学域は他にもありますが（生活科学部人間福祉学科、現代システム科学域）、文学部では基礎心理学を学ぶことができます。動物実験が盛んで、ラットやハトの二種類を飼育して実験で行っています。

入学前の興味・関心

人間の心の働き、仕組みを解き明かすことに興味があり、かねてから心理学を大学で学びたいと思っていました。大阪公立大学文学部であれば入学後も選べる猶予があり、他の関心に変わった場合も大丈夫だと思いました。

コースを決めたきっかけ

入学前から心理学を学びたいという気持ちが変わらず、基礎心理学に 관심がありました。

印象に残るコースの授業

2回生のときに行った基礎実験では、心理学で有名な実験の再現、追試を行い、わかりやすく心理学の流れがつかめます。動物実験も経験できました。実験はグループで行うため、心理学コースに所属する人たちと交流する機会も、印象に残っています。

コースのアピールポイント

動物実験をウリにしているところです。また、人間を対象にした研究もあり、実験に重きを置いています。いずれにしても、実験心理学がしっかりできることや、他にも色々な実験ができることもあります。充実しています。

高校生へのメッセージ

現時点で学びたいことがはっきり定まっていない人も多いと思いますが、公立大文学部は一回生で様々な授業を取って関心を探ることができ、選択肢が広く、色んなこと(学問)を学べます。学びたいことが決まっていなくても焦る必要はなく、実際に授業を受けて考えれば大丈夫です！

教育学コース

4回生 T.R.

コースの概要・特徴

学校教育や社会教育について広く学ぶことができるコースです。学校、公民館、家庭、社会におけるあらゆる教育や、海外での教育との比較、教育史、ジェンダーなど、教育にまつわる幅広い学びが提供されています。また、学生と教員の方との距離が近かったり、教室旅行やお花見などの交流イベントが催されていたりと、コース内の交流が盛んであるところも特徴的です。

入学前の興味・関心

漠然と哲学を学びたくて文学部に入りました。実際に様々な授業を受けてみることで、学校教育における自分の原体験を基に、学校がどういった役割を担ったり、教育を受ける側である子どもたちにとってどのような効果があるのか、今の学校が果たす役割であったり、「学校」の意義の方へ興味が移っていきました。

コースを決めたきっかけ

哲学を志望していましたが、授業を受けたときに哲学や倫理学で自分が卒論を書くイメージをつかめませんでした。教育学の授業を受けてみて、教育学では自分の関心と結びつけて色々なことを扱えそうだと思い、教育学コースに決めました。

印象に残るコースの授業

日本と海外の教育を比較する「比較国際教育学」という授業が面白かったです。自分が受けたときのテーマは「教師」文化で、グループでテーマを決めて調べていきます。自分のグループでは日本とブラジルの校長の選出方法について比較しました。制度について調べていくうちに両国の政治的背景の構造変化が浮かび上がり、制度についての理解を深めることができました。外国教育を調べるにあたり、文献調査などに苦労しましたが、その分面白いことが分かって達成感を得られました。

コースのアピールポイント

教員との近さや、コースとしての一体感があり、全体的に仲良しな雰囲気が教育学コースの良いところです。また、授業でのディスカッションを通して、自分が受けてきた教育の違いを知る機会になり、自分の価値観をブラッシュアップすることができる環境が用意されているように感じます。

高校生へのメッセージ

今しかできない高校生としての生活を楽しんでください！楽しみ方は人それぞれです！

地理学コース

3回生 K.O.

コースの概要・特徴

地理学の中でも人間や社会活動に焦点を当てた人文地理学を扱っており、政治、文化、経済、情報と社会にまつわるあらゆることを学ぶことができます。方法としては、数値、地図、地理情報システムなどのデータと、フィールドワークでの実践活動を掛け合わせた学びを行っており、幅広い研究分野を扱っています。

入学前の興味・関心

中学生の頃から地図や旅行が好きで、興味関心は現在も続いています。

コースを決めたきっかけ

地理学コースでは実際に現地へ行きフィールドワークを行っていることを知り、自分の好きなことと学問が結びついていると感じてこのコースを志望しました。

印象に残るコースの授業

野外調査実習です。自分たちでテーマとフィールドワークコースを決めていきます。地域の中で着目する場面や、調査の進め方、関わり方の設定をしていき、調査と実習の相互学習を主体的に学ぶことができました。こうした授業は手法を含め地理学コース独自のもので、とても充実していて面白いです。

コースのアピールポイント

巡検コースをつくる実地調査の主体性があり、外に出て学ぶ機会にたくさん恵まれます。コースに所属している4人の先生方が気さくで、先生の巡検に参加することもあります。興味のあるテーマが漠然またはたくさんある人も、地理学では社会に関することであれば幅広くすべてが学べるのが魅力的です！

高校生へのメッセージ

様々な悩みがあるかと思いますが、後々よかったですと思えるような選択を心掛けられるといいと思います。地理学コースに入れれば後悔しませんよ！

国語国文学コース

3回生 H.T.

コースの概要・特徴

国語国文学コースでは、中古・中世・近代までの文学であり、国語学という日本語の文法を扱う授業が開講されています。授業形態は資料を作成して発表するものや、講義の授業があります。古典の資料から近代の小説まで様々な資料・文献を使用することが多いです。

入学前の興味・関心

入学前から国語学に興味があり、大学でも勉強したいと考えていました。国語学が気になり始めたのは高校の国語の先生の影響でした。先生の語彙の多さに驚き、日本語文法にも興味を持ち始めるきっかけになりました。

コースを決めたきっかけ

もともと国語学に興味があったことから、国語国文学コースを志望していました。そのため、文学部に入学することを決めていました。

印象に残るコースの授業

専門の授業では文学と言語で分かれていますが、文学だと時代ごとに授業が行われています。

個人的には国語学が好きなので、国語学の講義や演習の授業が印象に残っています。演習では言葉の違いや共通点を調べ、発表・議論する形式の授業でした。(例えば「ゆがむ」と「まがる」の相違点について)普段から使っている日本語を深掘りすることで新たな発見があり、面白かったです。

コースのアピールポイント

昔の文学などが好きな人や、小説や和歌などを細かく突き詰めるので、そのようなことが好きな人にはぴったりだと思います。国語国文学コースでは、所属する全員が文学も国語学にも触れる機会があるので、まさに「国語国文学」について幅広く知ることができます。

高校生へのメッセージ

好きなことを学べることが大学のいいところだと思います。今は大変な時期だと思いますが、やりたいことを思い浮かべながら頑張ってほしいです。

中国語中国文学コース

4回生 Y.I.

コースの概要・特徴

中国語中国文学コースでは、中国語学、中国文学、中国文化を学ぶことができます。文学や言語は古典を扱うことが多いですが、学生の希望に沿って、先生方も一緒にになって学んでくれます。そのため、学生は興味のある分野を気兼ねなく学ぶことができていると思います。

入学前の興味・関心

言語や文学に興味がありましたが、より興味があったのは言葉や文法でした。外国語にも関心があり、他言語で色々な人と交流できるという面白さを感じていました。

コースを決めたきっかけ

入学当初は言語が好きで、英語を学ぼうと考えていました。しかし、初修外国語で中国語を履修したことから、今まで学んできた言語とは違い、声調言語であり発音も難しく、新鮮に感じました。漢字という日本語との共通点がありつつも差異があることも新たな発見が多い言語だと思っています。

印象に残るコースの授業

中国語学専門の先生が担当している授業です。「説文解字」という後漢の時代に書かれた漢字の辞典を読み進めるという内容でした。漢字1字に対して漢字のつくりや意味を読み、様々な文献をたどる作業を行います。この授業は説文解字を読めるようになることでほかの研究に応用する目的もあります。また、志怪小説といって中国の不思議な話を集めた漢文を読む授業や三国演義のマンガのようなものを読む授業も面白いと思いました。

コースのアピールポイント

中国語中国文学コースでは、漢文や古典を読むだけではなく、現代中国語も勉強します。会話や読み書きも授業で行うので、中国を話せるようになりたい人にもおすすめです。大学院生にも中国の方が多く、身近な中国語に触れる機会もあります。

高校生へのメッセージ

このコースでは、中国ドラマ、アニメ、文化、アイドルでも、文化や文学が好きな人もぜひ大阪公立大学文学部に入学して中国語中国文学コースに来てください！

英米言語文化コース

3回生 I.H.

コースの概要・特徴

英米言語文化コースでは、イギリスやアメリカなどの言語、文学、文化を学びます。英語について学ぶ英語学のようなものから、文化ではアメリカの移民やマイノリティを扱った授業などがあり、英米圏に関する事象を幅広く取り扱うことができます。

入学前の興味・関心

もともと本に興味があり、なんとなく文学部がいいなと思っていました。本を読むことが好きで、海外文学などを好んで読む方ではなく、どちらかというと日本文学が好きでした。

コースを決めたきっかけ

今までにしたことのないことをやってみようと思い、このコースを選びました。英語は苦手でしたが、将来的に使うことを考えた、また英米言語文化コースの授業を通して英文学に興味が湧いたことがきっかけです。

印象に残るコースの授業

ネイティブの先生の授業で、英米の文化について英語でプレゼンテーションを行いました。授業内はすべて英語で、質疑応答などもあり、度胸がつきました。プレゼンテーションのテーマはマイノリティ文化についてなどで、様々な受講者のプレゼンテーションを聞くだけでも参考になることが多かったと感じています。

コースのアピールポイント

英米文学を原文・原著で読む機会があるということです。自分で読む機会はなかなかありませんでしたので、面白いと思っています。また、本や海外に興味がある人であればより楽しめると思います。英語学という面では、身近な外国語を改めて分析することで新たな発見ができる場だと思います。

高校生へのメッセージ

英語をしっかりと勉強しましょう！笑
大学は小中高と全然違い、自由にできることが増え、世界が広がっていくと思うので、大学生活に向けて頑張ってほしいと思います。

ドイツ語圏言語文化コース

4回生 U.T.

コースの概要・特徴

ドイツ語圏の言語や文化を学ぶことができます。領域は大きく分けて言語学・文学・文化の3つで、ドイツ語圏というだけあって、スイス、オーストリア、リヒテンシュタインなどに関することも学びます。ちなみに、現在いらっしゃるドイツ語圏出身の先生はスイス人の方です。

入学前の興味・関心

私は英語や世界史など、日本の外の世界に興味があり、視点が外に向いていたと思います。もちろん日本にも関心はありましたが、大陸の世界にはより関心が強かったと思います。そのため、初修外国語でもドイツ語を選びました。

コースを決めたきっかけ

正直、コースを決める直前まで悩んでいました。文学部に入学したのも自身の興味を絞り切れなかったからでした。そのため、初修外国語で選択したドイツ語、ドイツという基盤から学びを広げたいという思いで、このコースにしました。

印象に残るコースの授業

ドイツ語学概論という授業です。言語学(音声学・比較言語学・対象言語学・統語論など)の幅広いものをドイツ語を軸に学ぶ授業でした。

また、ドイツ語圏ランデスクンデという授業では、スイスについて自分で選んだトピックをドイツ語でプレゼンテーションをしました。スイスのことを知りながら、ドイツ語も身につけることができたと思います。

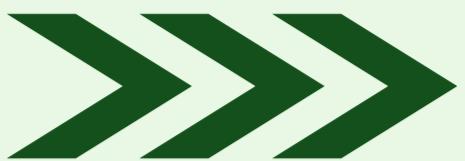
コースのアピールポイント

スイス出身の先生がおり、ドイツ以外の国について学ぶことができるというところです。また、初修外国語の授業から教えてくださっている先生方がコースの授業も行っているので、自然と先生との距離も近くなると思います。留学のサポートや留学の前例が多く、先生方も親身になってくれるので、留学に挑戦しやすい環境だと感じています。

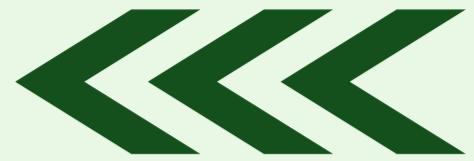
高校生へのメッセージ

疑問を持ち、本当か確かめることが大切だと思っています。大学生活ではこの心構えがあると良いと思います。
どこで何を学ぶかは自由！関心の広い方はぜひ！

フランス語圏言語文化コース



3回生 K.K.



コースの概要・特徴

フランス語圏の文化・言語・文学など色々なことを学ぶことができます。また、「フランス語圏」なので、例えばカナダのケベックやグアドループ、マグレブ地域など、フランス以外の地域の文化や歴史も授業で扱われます。ネイティブの先生や留学生との交流を通して、フランス語の語学力につけることができる授業もあります。

入学前の興味・関心

入学前は音楽の研究をしようと思っていました。しかし、入学後にフランス語圏言語文化コースの授業を受け、興味を持ち始めました。音楽以外の知識をつけることで、自身も成長できるのではないかとも考えていました。

コースを決めたきっかけ

どの先生の授業も楽しめて、面白いということでした。グループワークなどが多く、主体的に授業に取り組めるという点で魅力を感じました。また、上記のような関心の動きがあったこともコースを決めたきっかけになりました。

印象に残るコースの授業

私が印象に残っている授業は、ネイティブの先生の授業で、留学生や他の受講者と一緒にボードゲームなどを使用しながらフランス語を学ぶ授業です。

また、学期中の授業ではありませんが、短期留学も経験しました。そこでは、異文化に浸って様々なことを経験することで、価値観が再形成されたと感じています。

コースのアピールポイント

アピールポイントは大きく3つあります。1つ目は、文学、美術、言語、言語教育など様々な専門の先生がいらっしゃって、皆さんが優しく、楽しい授業をしてくれることです。2つ目は留学生との交流の機会が多く、彼らを通して外から見る日本などを知ることができます。3つ目は留学プログラムが充実しているということです。留学期間や場所も様々で、自身に合わせた留学をすることができます。

高校生へのメッセージ

高校生の時には英語圏以外の言語・文化に触れる機会が少ないので、みなさんにとっては、このコースでの授業やフランス語圏の文化 자체が新鮮だと思います。あたり前を打破してくれるところだと思います。ぜひきてください！

表現文化コース

3回生 H.I.

コースの概要・特徴

表現物※をよく鑑賞し、特徴や構造からその効果や法則を見つけて、それらを全て言語化していくコースです。中学高校の音楽の鑑賞からレベルアップしたことを行っているのが分かりやすいイメージでしょうか。自分のしたいものを対象として、それに対する知識をつけてきちんととした根拠をもとに本気で取り組んでいきます。(※…映画、音楽、漫画、絵、広告、アニメ、お笑い、YouTube、推し活、舞台、ファッション、文学、写真、物語など)

入学前の興味・関心

入学前はお笑いに関心がありました。今は映画やMVなど映像作品の研究をしたいと思っています。現在授業では自分でテーマを決めて8,000字のミニ論文を執筆することに取り組んでいます。私は映画を対象にしているのですが、自分でテーマを設定すること、進めることがかなり大変です。

コースを決めたきっかけ

楽しそうだと思ったからです。あまりコースのことよく分かっておらず、文化を研究すると聞いてアーティスティックなことをするんだと思ってかっこいいと思ったから入りました。実際には確かにアートは対象にすることが多いですが、授業で毎週まとまった量の文章を書く課題があり少し大変です。

印象に残るコースの授業

毎週作品を分析する授業では、いろんな表現媒体によって分析の着眼点が違うこと、どこに着目するべきか分析の基礎を学びました。ポピュラー文化論演習、文化理論という授業では、片方は記号という概念が社会にどう用いられているか、片方は文化の背景としてマルクスの思想などを学びました。表現物を対象にする上で重要な記号論、社会背景と文化の関連の見方について学びました。

コースのアピールポイント

オタクが多いことです。「これがめっちゃ好きだ！」ってものがある人が多くて、刺激的な環境です。

お笑い、ファッショニ、ボーカロイド、宝塚、KPOP、漫画、バンド、など、、、みんな濃くて羨ましいです。

高校生へのメッセージ

自分の好きなものを研究対象にしても嫌いにならないぐらい好きなものがある人は突き進んでいいと思います。私はぼんやり入って結果的には面白いと思えましたが、やはり熱意を持って入れる人におすすめします。

アジア文化コース

4回生 S.S.

コースの概要・特徴

アジア文化について、共生・比較・地域・伝統の視点で分けて考えたり、「アジア」という概念に立ち返って考えたりと、多角的な視点で学んでいます。コースも少人数なため、先生との交流もしやすいと思っています。コース内の学生同士も穏やかでいい距離感だと感じています。

入学前の興味・関心

留学の経験からぼんやりとアジアについて勉強したいと思っていました。そのため、これがしたい！という明確な関心はありませんでしたが、入学後でも興味を探せるのではと考えていました。

コースを決めたきっかけ

元々、アジアの文化や特にK-POPに関心がありました。また、韓国に長期で留学していたこともあります。様々なアジアの国の留学生との交流がありました。そのような経緯から、アジアについてもっと俯瞰して見たいという思いから、アジア文化コースを選びました。

印象に残るコースの授業

1つ目はお茶を扱った授業です。この授業では普段から身近にある「お茶」を学術的に捉えることが新鮮でした。お茶の歴史や活用のされ方、お茶の在り方の移り変わりを学べました。

2つ目は共生についての授業です。この授業では、そもそも国などの境界があるから「共生」という概念が生まれるなど、新しい概念を知ることができ、これまでの私のあたり前を考え直すきっかけになりました。

コースのアピールポイント

文化は人がつくったものであり、その分様々なことを広く学ぶことができます。そしてアジア文化コースにおいてはアジア文化に関することであれば何でも受け止めてくれると感じています。卒業論文の指導の際も、先生方はどれだけニッチな分野であっても、私たちの関心を尊重してくださいっています。

高校生へのメッセージ

体に気を付けて頑張ってください。今は不安かもしれません、積み重ねたものは財産になります。自分を信じて頑張ってほしいです。大阪公立大学で会えたなら嬉しいです。待ってます！

文化資源コース

4回生 K.M.

コースの概要・特徴

昔からあるものから新しいものまで、文化、社会活用資源の用法、利点、問題などを考えていくコースです。文化構想学科の中でも実践的な学びやグループワークが多く、かっちりしていないものに挑戦することができます。先生方の分野も多様であり、観光、美術、演劇、音楽療法など、テーマも自由性が高いです。

入学前の興味・関心

当初は異文化との比較に関心があり、文化人類学・民俗学が学べるコースに 관심がありました。入学後には美術のほうへ関心が移っていき、文化という大枠の中で美術をどう捉えるのかという方向へ関心が大きく変わっていきました。

コースを決めたきっかけ

入学前から「文化」に関心があったので、入りたい学科は決定していました。表現文化コースと迷いましたが、コースの学問的アプローチの違いや、美術への関心などから、多様なアプローチが可能である文化資源コースに決めました。

印象に残るコースの授業

地域文化資源論という授業では、観光に取り組む地域を自分たちで探し、選んだものについて調べたり、実際に現地へ地域観光に取り組む方々に取材をしたりする、実践を重視する文化資源コースらしさがよく表れた授業です。調査、宿泊、現地でのインタビューなどのセッティングもすべて自分たちで行います！また、舞台に関する実習もあり、自分の関心が薄い分野へも関わっていくことができました。

コースのアピールポイント

自分たちで取り組む機会が多いので、チームワーク力がつきます。グループ内での自分の立ち位置であったり、立ち回りなどを学んでいくことができます。学問面に関して言えば、文化を自由なテーマで研究することができ、文化活用に関する事象であれば学問として取り組むことが可能です。本や先行研究によらない研究であれば、学問横断的に方法論などを活用しながら進めています。

高校生へのメッセージ

皆さんはまだコースを考えられる時期ではないかもしれません
が、興味があることを楽しんでください。
大学は楽しいです。特に、積極的に動ける人には素晴らしい環
境だと思いますよ！

コース選択 ロードマップ

大阪公立大学文学部は4学科〈哲学歴史学科・人間行動学科・言語文化学科・文化構想学科〉15コースに専門が分かれています。多種多様な学びが提供されています。1回生の間は学科・コースに所属しないまま、各学科の基礎的な知識について学べる様々な分野の授業を受け、自分の興味関心のある専門・学問分野をじっくり考ることができます。その後、2回生から各学科・コースに所属し、各コースのカリキュラムに沿った学びが始まります。今回は2回生4人にどのような過程で所属するコースを決めたのかインタビューしました！

高校生の皆さんのが大阪公立大学文学部での学びをイメージする手助けとなれば幸いです。



哲学歴史学科

哲学コース
日本史コース
世界史コース

人間行動学科

社会学コース
心理学コース
教育学コース
地理学コース

言語文化学科

国語国文学コース
中国語中国文学コース
英米言語文化コース
ドイツ語圏言語文化コース
フランス語圏言語文化コース

文化構想学科

表現文化コース
アジア文化コース
文化資源コース

哲学歴史学科 世界史コース かとう



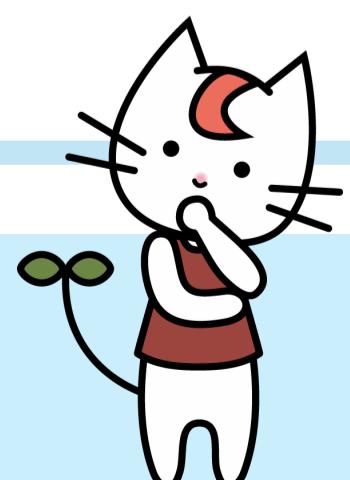
入学前

受験勉強の過程で世界史に興味を持ち、世界史を専攻したいと思い始め、志望していた大阪公立大学にちょうど世界史コースがあったので、大阪公立大学文学部に入学しました。

1回生

入学時はそのまま世界史コース一直線だと思っていましたが、ガイダンスでも他のコースには興味を持ちませんでした。ただ、初修外国語でフランス語を履修し、その授業の先生がいい人だったこともあり、フランス語圏言語文化コースにも興味が湧いてきました。世界史の教員を目指していたので、世界史コースが最適かと思っていましたが、フランス留学にも行きたかったので仏文にしようかとも悩みました。かなり悩んだ末に教職過程のために世界史コースを選択しました。

*仏文…フランス語圏言語文化コースの略称



最終的な
決め手

教職課程の取りやすさと
先生の雰囲気で決めました。

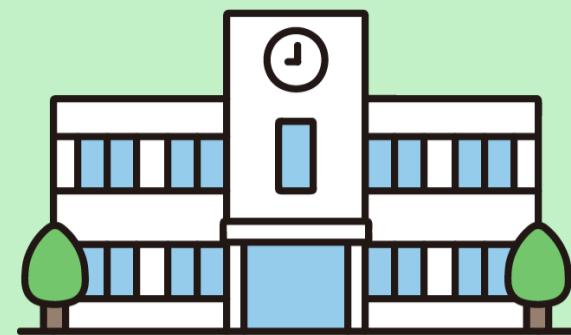
世界史コースへ！



高校生へのメッセージ♪

意外と入りたいコースにはちゃんと入れます！
入れなかつたらどうしようってところで悩む
必要は一切ないです！

人間行動学科 教育学コース はじ



入学前

保育所から高校までの自分の経験から
子どもの性格の違いについて関心があり、
心理学を学びたいと考えていました。

1回生

1回生前期では人間行動学科の概論を受け、自分が知りたいことは思考の発達過程ではなく学校や家庭といった環境が生む性格の違いであり、教育学からの方が比較的アプローチしやすいのではないかと気づきました。しかし、もともと持っていた心理学への憧れが捨てきれなかったため、コース希望調査では心理学コースを第1希望、教育学コースを第2希望にしました。1回生後期では心理学コースの先輩から毎回実験を行ってレポートを書く授業があるという話を聞き、楽しそうだと思う反面、自分が学びたいこととは直結しないように感じました。同時に教育学の先輩からも話を聞き、グループでのディスカッションを交えた授業が多いことや授業でボランティアに行く機会があることなどが自分の興味に合っていると感じて、最終的には教育学コースを第1希望にしました。



最終的な
決め手

各コースの授業内容を比較したり、コースの雰囲気を先輩から聞いたりしました。

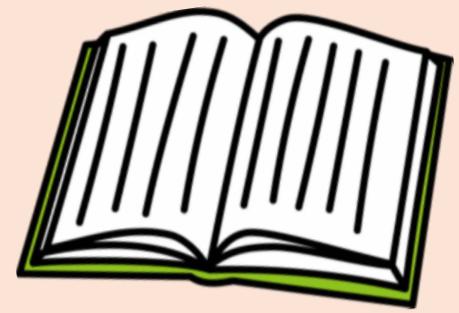
教育学コースへ！



高校生へのメッセージ♪

まだやりたいことが決まっていなくても、公立大の文学部なら幅広い分野の中から自分の興味を見つけることができます。納得のいく進路選択ができるよう、皆さんを応援しています！

言語文化学科 国語国文学コース みはる

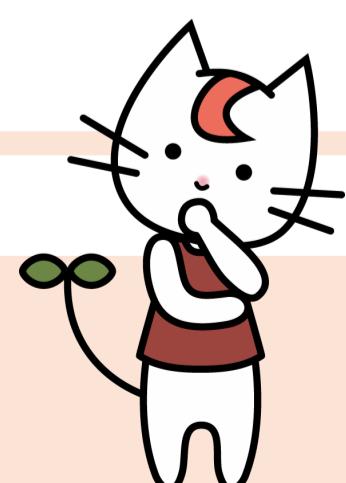


入学前

国語、日本史の授業が好きだったので
国語国文学コース、日本史コースに進み
たいと考えていました。

1回生

入学後、授業を受ける中で色々なコースに興味を持ちましたが、国語国文学コース、日本史コースに進みたい気持ちは変わらず、第1希望、第2希望にはこの二つのコースを選んでいました。どちらのコースにするかは最終希望調査の締切の数日前まで悩みました。昔の日本の文化や価値観といったもの全般に興味があったためなかなか決めきれませんでしたが、それを文学、歴史のどちらの切り口からやりたいかと考えた時、文学の方がいいと思ったため、最終的に国語国文学コースを選びました。



**最終的な
決め手**

**授業の内容や様子。先輩に相談した
のがとても参考になりました。**

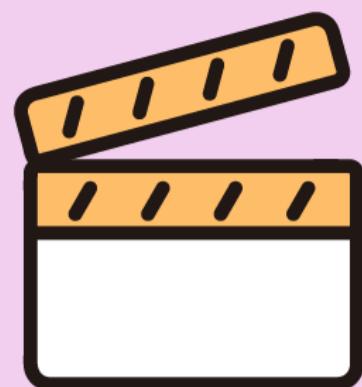
国語国文学コースへ！



高校生へのメッセージ♪

**大阪公立大学文学部はやりたいことが
決まっている人も、色々なことに興味が
ある人にもぴったりだと思います！**

文化構想学科 文化資源コース いだゆり



入学前

コースまでは決めていなかったのですが、漫画や映画等のサブカルチャーやメディア表象に興味があったため、それら、特に後者を扱える文化構想学科に進むつもりで入学しました。

1回生

文化構想学科に進みたい、という希望は入学前から固まっていました。ですが、テーマを幅広く設定できる社会学や、フィールドワークに魅力を感じた地理学コースにも興味を持つようになりました。

1回生の6~7月頃は、文化構想学科のうち表現文化か文化資源を第1希望に、第2、第3希望を社会学か地理学にしようと考えていました。1回目のコース希望では表現文化を第1希望に出しました。



最終的な 決め手

表現文化と文化資源で迷っていましたが、文化資源の当時4回生の先輩からそれぞれのコースの違いや授業の取り組み方、先輩が当時取り組んでいた卒論などのお話を伺ううちに、実践から文化にアプローチするという文化資源コースの手法の方が適していると思うようになりました。卒論についても夏頃まではあまり意識していなかったのですが、過去の卒論のタイトルをざっくり見てみて、惹かれるものが多くつたことも文化資源にした理由の一つでした。

文化資源コースへ！



高校生へのメッセージ♪

大阪公立大学文学部では、幅広い対象を様々な捉え方で扱えます。日々新たな視点に触れ、考えが深まっていくのは本当に面白いです。公立大文学部でお待ちしています。